

NOALX™ Rm

SNO-M0007M

■概要

本書は、NOALX Rm (SNO-M0007M) の印刷・ラミネート加工・施工・保管に関する注意事項をまとめたものです。

■被着体について

・以下に被着体別の性能例を示します。

被着体		自然剥離	糊残り	艶変化	注意事項
アルミ複合板	ホワイト ※ポリエステル系	○	○	○	
	ホワイト ※フッ素系	○	○	○	
	マットブラック ※ポリエステル系	○	○	×	※艶変化あり
塗装板	黒色ウレタン系塗装	○	○	○	
	黒色アクリル系塗装	○	○	○	
	黒色フッ素系塗装	○	○	×	※艶変化あり
大理石	水磨き (マット)	○	○	△	※一部の被着体で変化あり
	本磨き (グロス)	○	○	△	※一部の被着体で変化あり

凡例：○：異常、変化なし △：一部の被着体で変化あり ×：異常、変化あり

【大理石の種類 (例)】

シュガーホワイト



エンパドールダーク



ゼブラカルニコ



※本結果は一定の条件下に基づくものであり、全ての環境下において同様の結果となることを保証するものではありません。異常、変化がない被着体であっても、被着体の状態により施工できない場合や再剥離性能が発揮できない場合がありますので、予めご了承ください。また、保管環境や施工環境などの影響により経年変化が発生し、十分な接着力が得られない場合がありますのでご注意ください。

■印刷・ラミネート加工について

【印刷について】

- ・印刷前にカール・たるみがある場合は、再ピンチまたはカール部を先送りした上で印刷してください。
- ・印刷時は送風機等を併用し、十分に乾燥させてください。
- ・印刷後は平置きまたは内巻きで保管してください。外巻き保管では、剥離フィルムが基材から剥がれる可能性があります。

(写真1, 2 参照)



写真1 外巻き保管 (非推奨)



写真2 内巻き保管 (推奨)

- ・保管はスノコ等の上にくる巻きで縦置きし、風通しの良い場所で1日以上行ってください。

【ラミネート加工について】

- ・施工性や耐候性、耐久性（表面、インクの保護）の向上にはラミネートフィルムの使用を推奨します。
- ・インクが十分に乾燥するまでは、ラミネート加工などの後加工を行わないでください。また、印刷後は表面が柔らかくなっており、印刷部分を擦ると容易に色が欠損しますので、取り扱い時にご注意ください。
- ・ラミネートフィルムの種類によっては、多少色味が変わる場合があります。色味を重視される場合にはラミネート加工後の変化をあらかじめご確認ください。
- ・ラミネート加工はインク脱落、経時での浮きを防ぐため、気泡入り、貼り直しがないように加工をしてください。
- ・ラミネート加工速度が速い場合、ラミネートフィルムの接着力が不十分になる可能性がありますのでご注意ください。
(推奨加工速度：6m/min以下)
- ・印刷後の保管時と同様に、ラミネート加工後も平置きもしくは、内巻きで保管してください。外巻き保管では、剥離フィルムが基材から剥がれる可能性があります。ただし、巻取り径が小さい場合はラミネートフィルムが剥離する可能性がありますので、写真3のように大きな径で保管してください。(推奨径：φ200mm以上)



写真3 内巻き (ラミネート加工後)

- ・ラミネート加工後、粘着力が安定するまで20～25℃で1日以上放置してからカット・施工をしてください。

■施工について

【被着体確認及び清掃について】

- ・被着体表面にチリ、ホコリ、土砂などの汚れや油脂などが付着していると十分な接着力が得られないため、清掃（水拭きやIPA、高圧洗浄等）を行ってください。
- ・清掃後は十分に乾燥したことを確認した上で施工を行ってください。
- ・清掃後でも汚れが付着している場合や、表面を擦るといつまでも脱落するような状態の被着体は非推奨となります。

【施工注意事項】

- ・貼り付けは10℃以上の温度下で行ってください。10℃以下の場合、十分な初期粘着力が得られない場合があります。また高温下での施工は初期粘着力の上昇や、製品が軟化する場合があります。
施工環境温度：10～40℃ 使用可能温度：-30～80℃
- ・結露しやすい被着体や被着体の特性によっては十分な粘着力が得られない場合があります。浮きや剥がれが発生する場合がありますので必ず事前にご確認ください。
- ・被着体に凹凸がある場合やリベット・ビス部分、被着体の繋ぎ部分は、浮きや剥がれが発生することがありますのでご注意ください。
- ・水貼り施工は温度・湿度条件によって残留水分が抜けにくくなり、十分な粘着力が得られずに浮きや剥がれが発生する場合がありますので、ドライ貼りを推奨いたします。
- ・汚れ防止など特殊な機能が付与された被着体には施工できない場合があります。
- ・長期間高品質なグラフィックスが必要な場合や再剥離性を維持するためには、フィルム端部にエッジテープ、エッジシーラー等の処理を施していただくことを推奨いたします。
- ・ウインドウへの内貼りなど、粘着面側から日射が当たる環境の場合、再剥離性に影響を及ぼす場合がありますので、ご注意ください。
- ・継ぎ施工の場合、ロットにより色が異なることがありますので、同一ロットをご使用ください。また印刷方向により見栄えが異なる場合があるので、印刷方向を合わせてください。ラミネートフィルムをご使用の場合も、加工方向を合わせてください。
- ・被着体の種類によって接着性・再剥離性が異なりますので、使用期間を想定した試験施工を一定期間実施し、異常がないことを確認した上でご使用ください。

■剥離について

- ・全ての被着体において再剥離性能を有するものではなく、使用期間・使用環境、出力・乾燥条件、使用インク、剥離方法や剥離環境などによって、剥離状況は異なりますのでご注意ください。
- ・フィルムは勢いよく引っ張らず、ゆっくりと速度を一定にし、少ない面積にしながら剥がしてください。
- ・被着体の表面がもろい場合や塗膜の密着性が低い場合、表面が劣化している場合などは剥離時に被着体表面や塗膜などがフィルムと共に剥がれる可能性があります。
- ・剥離剤を使用する場合は、塗装などが溶けてしまう場合がありますので、事前にテストを行ってください。また、剥離剤は一気に全面に吹きかけず剥離箇所ごとにご使用ください。

■耐候年数について

- ・耐候性の数値は弊社試験結果に基づく予想される年数であり、保証年数ではありません。
- ・耐候性は垂直面でインク自体に耐候性を有する場合に限りです。
- ・施工方法や使用環境により、短くなる場合があります。
- ・物理的・化学的に厳しい条件でご使用になる場合は、耐候性がさらに短くなります。

- * 製品についてご不明な点などございましたら、お問い合わせください。
- * 本書の著作権は当社に属します。よって、無断で複写・複製、引用、公開などを禁止します。
- * 本書は、本製品に関する製品情報及び環境安全に関わる情報を提供するものであり、性能や品質を保証するものではありません。
- * 製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更させていただくことがあります。
- * 使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任も全て負うものとします。
- * 売り主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。
- * 本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売り主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。



PLASTICS & BUILD MATERIALS

藤田産業株式会社

FUJITA INDUSTRY co.,Ltd.

初版 2025年 9月発行